

「本部」反動分子による鉋子支部分裂・破壊・業務再開を完全に粉碎せよ！

日刊 動労千葉

81.1.24

No. 640

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）品三三二七二〇七

三三七鉋子支部臨時大会で一致団結・動労千葉に結集せよ

わが動労千葉は、昨年末の12・23鉋子支部執行委員会におけるクーデター的な「業務再開」強行決定以降今日まで、動労千葉の全存在をかけて連日にわたる鉋子支部全組合員に対する説得、追及、糾弾行動を展開してきた。

その結果、「本部」革マル分子が鉋子支部の一部役員をデマとペテンをもってまるめ込み、そして、鉋子支部を動労千葉破壊のための出先機関にしようとする意図について多くの組合員が理解し、動労千葉と共に進まんとする声が次第に拡がっている。支部大会など開く必要なし。十二・二三の執行部決定「業務再開」に従うのか否か、のみだ。いやな者は脱退届を出して出ていけと公言したあの三信ビル「本部」反動分子が「執行委員会」を僭称して書いたあのデタラメ「揭示」路線「業務再開」路線の「まわしが、当然にも多くの組合員から厳しく批判された。そして、動労千葉の正しい主張に多くの支持がまきおこる中で、ついに「一・二七支部臨時大会開催」が勝ちとられたのである。

われわれは、一・二七鉋子支部臨時大会において鉋子支部の圧倒的多数の組合員が「業務再開決定」に反対し、動労千葉に結集するよう心から訴える。

「本部」反動分子のアセリにかられた鉋子支部分裂・破壊策動

今日、動労「本部」反動分子に対する全国の戦闘的組合員からの激しい責任追及の声が日に日に高まり、動労大改革運動は、着実に前進し、全国的に拡大している。

すなわち、「大胆な妥協」路線にもとづく「55・10ダイ改」「乗務員運用合理化」に対する「本部」革マル分子の積極的協力と屈服。「反ファシズム統一戦線」の構築と称する「水本謀略」にかわる「小谷謀略」運動とその破産。そして、津田沼「三信ビル」を出撃拠点とする国鉄当局一体となつた動労千葉破壊「千葉地本」再建策動。

国鉄35万人体制に屈服し、闘う動労の伝統をふみにじり、「八〇年代は冬の時代」論をもって反「謀略運動」のみに全組合員をひきまわし、何んら闘う方針を打ち出し得ないばかりか、動労千葉破壊のために、国鉄当局と一体となつてありとあらゆる策動をくりかえす動労「本部」革マル分子に対する激しい追及の声が当然にも全国的に拡大しているのである。

こうした全国の戦闘的組合員の声をなんとかかわすため、「本部」反動分子は、遅々として進まぬ千葉地本「再建」動労千葉解体策動を鉋子支部分裂・破壊をテコとして打開しようとしているのである。

もはや今日、動労「本部」革マル分子のその右翼的動労私物化の実態は、全国の組合員の前に日々明らかになりつつある。

今こそ、われわれは、一・二七鉋子支部臨時大会という最大の山場をむかえ、動労千葉の闘いと

方針の正当性と正義性とに一層自信と確信を深め、「本部」反動分子による鉋子支部分裂・破壊策動を完全に粉碎し、一・三〇千葉地本「再建」大会粉碎を勝ちとろうではないか。

一・二七鉋子支部臨時大会を動労千葉に結集する才一歩としよう

鉋子支部の全組合員の皆さん。
鉋子支部の今後を最終的に決定する最も重要な一・二七臨時大会を目前にして動労千葉一・三〇〇組合員は、心から皆さんに訴えます。
「業務再開」に賛成し、動労千葉解体・破壊を一貫して策動する「本部」反動分子に手をかすのか、それとも、「業務再開」決定を否決し、動労千葉に結集し、鉋子支部の新たな出発を勝ちとるのか。

組合民主主義の否定・ひきまわし「業務再開」ゴリ押しによつて鉋子支部四分五裂・泥沼的混乱への道をとるのか、それとも慎重な判断をもつて鉋子の全組合員がいまこそ一致団結して正しい路線のもとに統一・団結し、新しい再出発を勝ちとっていくのか。

二つに一つの道を選ぶ大会です。

「業務再開」をキッパリと拒否し、動労千葉に結集し、共に進もうではありませんか。

この道こそ、われわれが皆さんに自信を持って訴える唯一のことばです。

一・二七支部臨時大会を動労千葉に結集する声で圧倒的に成功させようではありませんか。

緊急 抗議 金大中氏の死刑判決弾劾